



Weekly News Letter

つくば学園ロータリークラブ 会報

2005.2.17 第22号



筑波大学留学生センター長卓話



新入会員神林氏

「2月会長挨拶」

節分の豆まきも過ぎて、季節は春に向かってまいりましたが、この頃、皆さんの活発な行動によりまして、つくば学園ロータリークラブの存在が際立ってきた様に感じています。

会員数の増加と、その新入会員のバイタリティーによります会の活性化が、このところ続いている様に思います。また、先月の創立会員の方々の会員卓話では、夢のある、若若しいお話を聞かせていただきました。何よりも、各委員会の活動が、楽しく活発に行われていまして、国際ロータリークラブ100周年をまさに祝っていると思います。また、全員ポール・ハリス・フェローを達成した事も100周年を祝うのにタイムリーだったと思います。

今年度の重点事業の一つに、筑波大の留学生との毎月の交流会があります。その交流会を発展させ、つくば学園ロータリー基金との結びつきによりまして、クラブと奨学生の将来、国を交えた国際交流に発展する事を願っています。今日は、つくば学園ロータリー基金の筑波大留学生への奨学金の運用開始の為に、筑波大学留学生センターより、センター長 シュテファンガイザー氏、センター次長 塚本孝司氏、(留学生支援)専門職員 柳田なみ子さんがお見えになっています。お話を頂き、つくば学園RCと筑波大と奨学生との交流、親睦、規則、関係、関わり等を勉強したいと思います。よろしくお願いいたします。

また、25日、26日には、友好クラブ山城ロータリークラブの15周年のお祝いに12名でお世話になってきます。

節分、「季節の移り変わる時。立春*立夏*立秋*立冬の前日」「特に、立春の前日のこと。祖の夜を年越しとって、民間で門戸にヒラギの枝にイワシの頭をつけたのをさし、日暮れに豆まきを行う。」広辞林
節分、「立春の前日。2月3日ころ。この夜、鬼打ちの豆をまいたり、柊の枝に鯛の頭をさしたものを戸口にさしたりして、邪気を払う習慣がある。」大辞泉

「法人会・中国深セン探訪記」

古本捷治

ゆっくりと白バイがスタートした。続いて大きな公安のマーク入りのミニバンパトカーが、続く。五つ星の富淋酒店前の片側5車線は封鎖。我々のバスもゆっくりと、道路に顔をだす。やれやれやっとこれで、あの忌まわしい中国、香港、国境のイミグレーションさえ我慢すれば、一路帰国だと、全員ホットした。しかし間髪をいれず、半数の人が気づいた。バスに荷物が積まれていない。確かにホテル内で各自荷物は確認した。ボーイもバスまで荷物を持ってきた。しかし何故か、また荷物は又ホテル内に戻る。

あとから判明したが荷物をバスまで持っていけと言われたが、バスに積みとは言われてなかったのもまたもとの位置に戻りたい。しかも市長も、会長も、乗っていない皆な真っ青。ガイドは、走る。係りも走る。しかし依然として道路は、封鎖。ようやく公安も理解したらしく一時解除。この間、10分日本では考えられない。ようやくバスに荷物が来たがボーイ達はなにもしない。5分後ボーイ長が飛んできてやっと荷物が積まれた。中国人は命令された仕事以外は、テコでも動かない。机を拭けと言うと、雑巾を渡さないと手で拭く。雑巾を洗えと言うとドロ水でも洗う。"この雑巾は、きれいな水ですすぎ、机をほこりのないように掃除しろ"と命令しなければならない。しかし、雑巾とバケツはかたづけない。そこまで命令されてないという。まるでケイタイ電話の説明書みたいだ。さて市長も会長も乗り出発。イミグレーションまで天皇陛下なみに道路封鎖のなかノンストップ。帰路は、各自荷を持ち2ヶ所のイミグレーションを1時間で通過。行きはヨイヨイ帰りは怖い、反対だった。一体あの中国への入国どうなっていたんだろう？ 香港は10分で通過したが、2時間掛かった。たった一人の係官が30人も、のチェックを旧式のパソコンでやっていたらしい。多分アッチコッチ何回も出かけている金持ちのジッサマたちの履歴を詳しく調べていたのだろう。

深センに入ると、白バイ、パトカー先導でそのけそのけで、フルスピードで走る。今回は、つくば、深セン友好都市相互訪問で、つくば市長が同行している。お陰でどこに行ってもVIP待遇。レセプションなど素晴らしい中華風フランス料理。あんなおいしいものが世の中にあっただとはと、感激した。街中は、新宿なみの高層ビルがえんえんと続く。一路西に40キロ郊外の工業団地に着く。イミグレーションで時間が掛かりすぎたのでもう工場など閉まっているのではないかと皆心配したが、しかしそこは法人会、アレンジの妙をみせてくれた。今日の訪問先は、オリンパス工業。一日20時間操業。いつでも見学OK。敷地3万坪、広い庭に広い池、3階建ての大きな工場。工場長以下美人のクレーン達のお出迎え。さっきまでのイミグレーションでの不機嫌が一挙にふきとんだ。まずはガイダンス。1991年12月深センオリンパス工業設立。実に鄧小平が、深セン開発特区を始めてまだ11年目に、速くも進出している。漁村で人口2万人の深センは、鄧小平が経済特別開発地区に指定して、共産圏にない資本主義理念を導入して開発された。まだ開発以来25年しかたっていない。高層ビルが立ち並び人口公称550万、実際には700万人以上の中国有数の大都市になって、まさに中国の生産工場大工業都市が産まれたのだ。しかも平均年齢28歳、平均定年35歳、儲けた金を持って、年寄りには国に帰り、若い人は田舎から来る。平均月収5万円、大卒の頭のいい若者が中国全土から集まってくる。何せ現在中国で最も人気のある都市である。実際、オリンパスの女工は、田舎から17歳で出てきて、21歳定年だそうだが、若い人でないとオートメーション変わりの細かい手作業は出来ないとのこと。月給1万円、住宅会社持ち、食費一日140円、残りは、ほとんど仕送りに当てる。4勤2休で通年稼働、休みは正月休みだけで1日20時間稼働、今はやりの小型デジカメの部品を造ってOEMで各メーカーに支給している。工場内はクラス1000のクリーンルーム。女工たちは目にも見えない素速さで5ミリ以下のチップに、細かい部品を組み立てている。とても、アル中の小生にはとても出来ない仕事だ。従業員7000人、しかし日本人は10人、しかも一年で5人交代とか。もう日本では物を生産できないのかと質問すると、生産は中国でも、そのノウハウを考えるのはやはり日本、アメリカという事。大企業が物を造るのに、下請けだよりになっているのと同じ理屈だ。人件費は安い、開発力がなく、物まねは非常にうまい。まるで50年前の日本みたいだ。実際中国人も、日本欧米並みになるのは、50年掛かると言っている。しかし中国人特有のマナー、考え方は変わらないだろうという。中国人にとって、行列など実際無意味だし、思いやりなどどこにもない。買い物も値段が有ってないようなものだ。値切ったら切りがない。高く買った人はバカだと思っている。綺麗なビルやマンションはあつと言う

間に建つ、しかし中身はどうでもいい。 外見だけ良ければいい。 実際北京で、ガチャガチャの盛り場が半年で整理され巨大なデパートに生まれ変わっているのを見た。 しかしトイレは、地下に一箇所、しかも昔のままのドアのないトイレだった。 まったく中国は表の顔と、裏の顔がまるで違う。 工場を後にして中国三大ショウの一つ、深センダイパレードの見物に向かった。 今回の旅は、大変興味深く、中国人のダイナミズムを、肌でかんじられた。 又市長同行なので持て成しもすばらしい感動的な旅でした。

2月10日(木)例会報告・ホテルオークラ

[ビジター]

シュテファイン カイザー様	筑波大学留学生センター長
塚本 孝司 様	筑波大学留学生センター次長
柳田 なみ子 様	筑波大学留学生センター専門職員
許 雪珠 様	米山奨学生
鶴 哲也 様	つくば学園ローターアクトクラブ幹事

[ニコニコBOX]

本日の合計	¥ <u>57,000 円</u>
本年度累計	¥ <u>834,000 円 (達成率 48.7%)</u>

[出席]

会員数	出席数	欠席数	出席率	前週修正率
57名	45名	12名 (無届1名)	78.95%	82.14%

[ニコニコBOX]

岡添 紘樹 神林さん入会、おめでとうございます。留学生センター長カイザー教授、卓話ありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。

綿引 信之 米山功労賞ありがとうございました。

伊勢 一則 長男がこの春2度目の甲子園出場となりました。たくさんのお祝いの言葉ありがとうございました。3月には親父も大阪に入り夜の梅田で活躍してきます

路川 淳一 おいしいケーキありがとうございました。

菅原 俊 このたび、父の葬儀に際しまして大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

塚田 陽威 先日は卓話をさせていただきまして、ありがとうございます。

堀越 雄二 意を持って通じる、今回はこの言葉をしっかり身にしみて感じました
今後、飛行船(ツエッペリン号)が「つくば」と「土浦」の架け橋になればと願います。

東郷 治久 本日より神林カスミ名誉会長が我がつくば学園RCに参加していただくことになりました、皆様のお仲間に加えていただき、親しくお付き合い下さいますようお願い申し上げます。



鈴木会員マルチブル米山有功者受賞



綿引会員新米山有功者受賞

プログラム（予告）

2月17日（木）	招待卓話	日本経済新聞社 支局長 中島 林彦氏
2月24日（木）	招待卓話	つくば中央警察署 署長 石崎 尤夫氏
3月 3日（木）	理事会	11：00～
	会員卓話	「ロータリー基金について」
	委員長	中村 義雄

[編集後記]

南アフリカで行われました、第一回ワールドレディスで宮里藍選手そして北田瑠衣選手がみごと優勝しました。まことに快挙であります。私は深夜感動のあまり思わず涙しました。日本人はチームプレイに強いというのを見事実証してくれました。どこかの解説者も言っていたのですが、もうすこし余韻の残る編集にしてくれればよかったのですが・・・。とにかく両プロ、優勝おめでとうございます、最高のコンビでした。実力もファッションも世界一ですタイ！

発行責任者

つくば市千現 2-1-6 つくば研究支援センターA25
 ホームページ <http://www13.plala.or.jp/gakuenrc/>
 つくば学園ロータリークラブ クラブ会報委員会

TEL 029-858-0100 FAX 029-858-0101
 Eメール gakuenrc@axel.ocn.ne.jp
 委員長 塚原英夫